

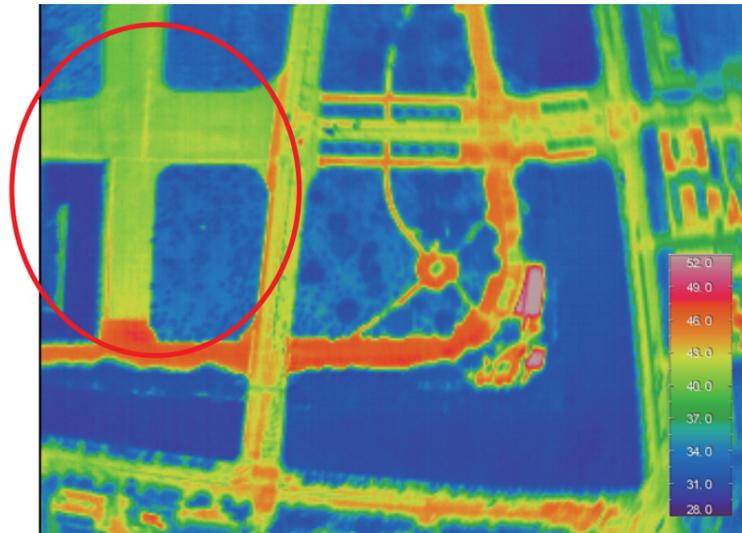
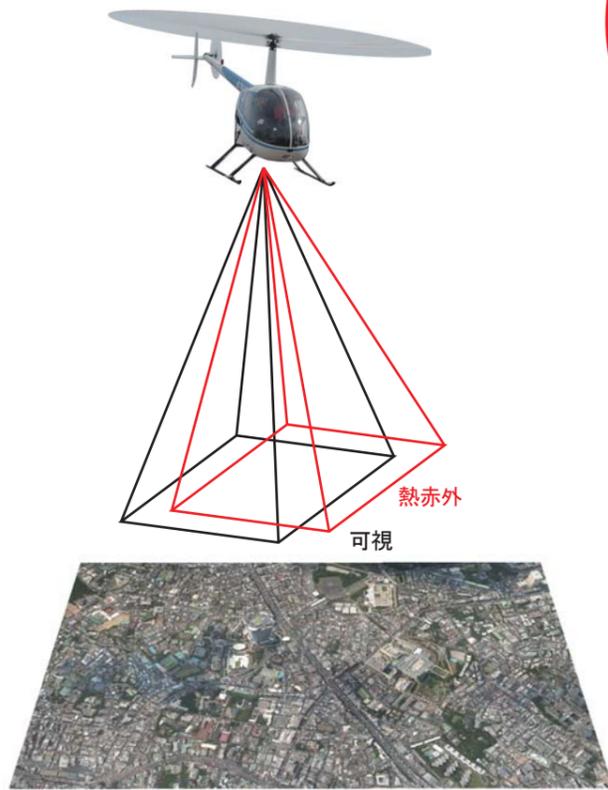
サーモマップ®による道路の熱環境調査

毎年、夏になると「ヒートアイランド」という言葉が、新聞やテレビで取り上げられるようになり、その言葉は今や常用語となっています。100年前に比べ、東京の平均気温は約3℃も上昇し、都心部では熱帯夜が年間30日以上となっています。このヒートアイランド現象拡大は、長期的にわたって蓄積した大規模な都市化と深く結びついています。これまで都市においては、緑地や水面の面積が減少する一方で、建物や道路などの人工構造物が増加してきました。

道路は日中、60℃程度の高温になり、アスファルトへの蓄熱により夜間も相対的に温度が高く、周辺の熱環境の悪化をもたらしていると考えられています。特に、夜間の緑地からの冷気のにじみ出しは、比較的幅員の広い道路を越えることができず、冷熱の拡張の妨げといわれています。

そこで、小型ヘリコプターを用いて面的に熱環境を整理（サーモマップを作成）することをご提案します。熱環境的に問題のある地域、冷熱の活用ポテンシャルの大きな地域など、熱環境の改善に向けた課題の抽出につながります。また同時に遮熱性舗装（事例1）や保水性舗装（事例2）など、既に対策がなされた場所の効果検証も行うことが可能です。

事例1. 遮熱性舗装の効果検証

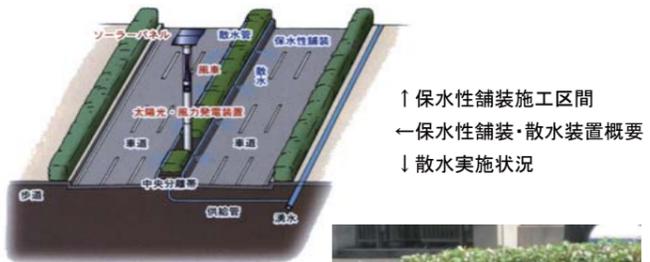
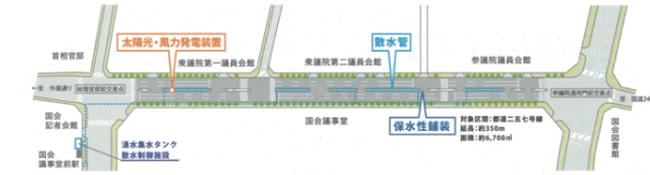


サーモマップ®



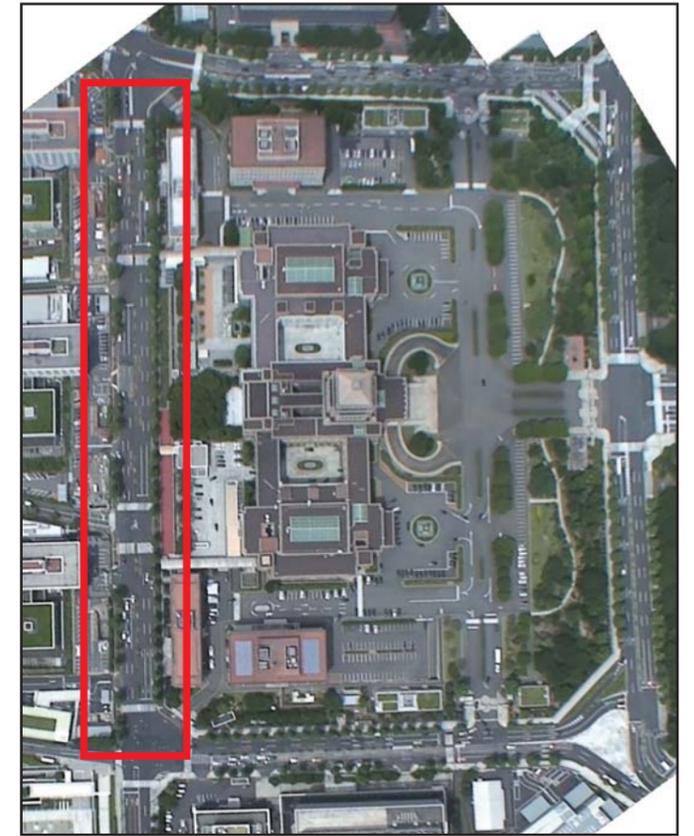
事例2. 保水性舗装の効果検証

ヒートアイランド対策として路面温度を下げることを目的に、国会議事堂周辺において、一部、保水性舗装が施工されています。昨年、散水実験時のサーモマップです。

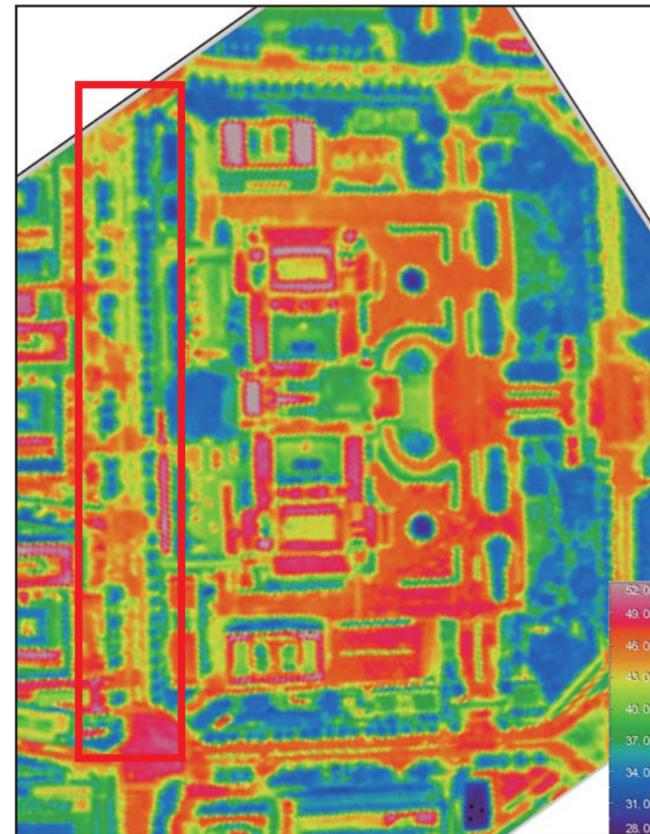


↑ 保水性舗装施工区間
← 保水性舗装・散水装置概要
↓ 散水実施状況

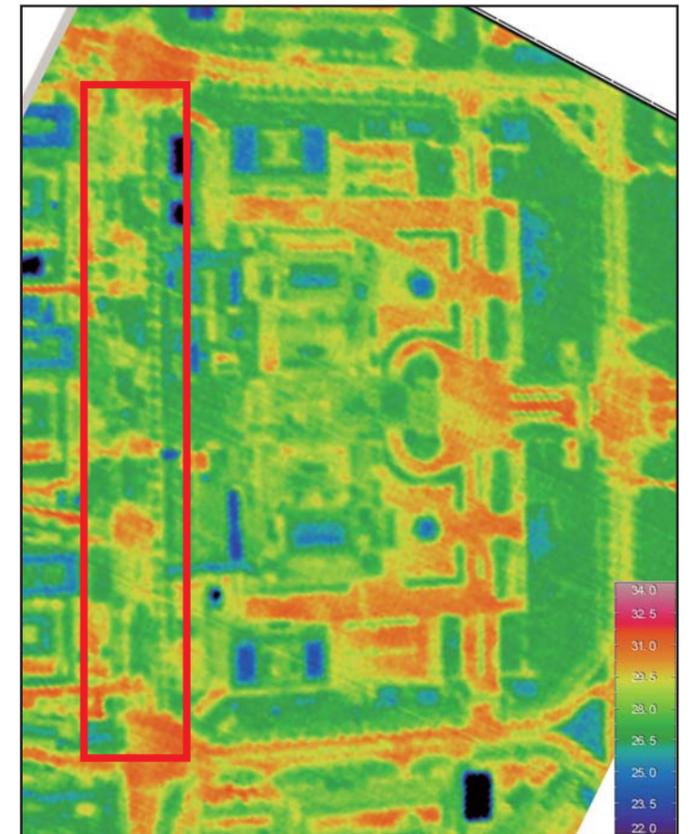
国土交通省パンフレット
「東京をやさしく、
心地よい街へ。」より



2007/08/07 現地ハイビジョンビデオ画像



2007/08/07 12:30 サーモマップ(散水前の昼間)
→周辺の道路と大差なし



同日 21:30 サーモマップ(散水後の夜間)
→周辺の道路に比べ路面温度が低い



スカイマップ株式会社 URL : <http://www.skymap.co.jp> E-mail : skm@skymap.co.jp

本社 〒596-0046
大阪府岸和田市藤井町 2-1-12
TEL 072-477-3747 FAX 072-457-6981

東京事務所 〒110-0011
東京都台東区三ノ輪 1-28-2 MH 三ノ輪 401
TEL/FAX 03-6322-4071